

2025年 2月 5日

**心房または心室起源の頻脈性不整脈に対して
カテーテルアブレーション治療を受けられた患者様へ**

当院では、心房または心室を起源とする頻脈性不整脈に対して、不整脈の機序を解析し診断するために三次元マッピングシステムを用います。そのシステムの一部では従来にない新たな診断指標(心臓局所電位の周波数解析)が使用でき、今後の不整脈治療の発展につながることを期待されるため、その有用性を検討しています。本研究は、通常の診療で得られた情報をもとに行います。この案内をお読みになり、ご自身が研究対象に該当すると思われるご質問がある場合、またこの研究にご自身の情報を使って欲しく無いと思われる患者さまは、ご遠慮なく下記の担当医師までご連絡ください。

【対象となる患者さま】

2024年4月から2029年3月まで当院で心房または心室を起源とする頻脈性不整脈に対してカテーテルアブレーション治療を受けられた患者さま

【研究課題名】

三次元マッピングシステムを用いた局所電位周波数と不整脈基質および心筋性状の関係性についての検討

【研究責任者】

群馬県立心臓血管センター循環器内科 西内 英

【研究の目的】

頻脈性不整脈が発生する背景には、心筋が変性し不整脈を起こしやすい基質を形成していることが一因と考えられています。頻脈性不整脈の機序自体は解明されつつありますが、その背景にある素因については未だ不明な点が多く残っています。今回の研究では、頻脈性不整脈の起源と考えられた部位の局所的な電気興奮の詳細を解析し、新たな治療指標の有効性を評価することが目的です。

【利用するカルテ情報・資料】

診療録、年齢、性別、身長、体重、術前に施行された各種検査結果(採血、心電図、心エコー図検査、CT・MRI検査など)、カテーテルアブレーションの手術記録、術後の外来での経過の記録などを使用いたします。通常診療で用いられる範囲の情報です。

【個人情報取り扱い】

登録されたデータは、ご氏名、住所など患者さま個人を特定できる状態で使用すること
はございません。研究結果を学会や学術雑誌に公表する場合は、個人が特定できない形
で使用します。

【問い合わせ】

群馬県立心臓血管センター 循環器内科
研究責任医師 西内 英 027-269-7455 (代表)